

研究室概要:

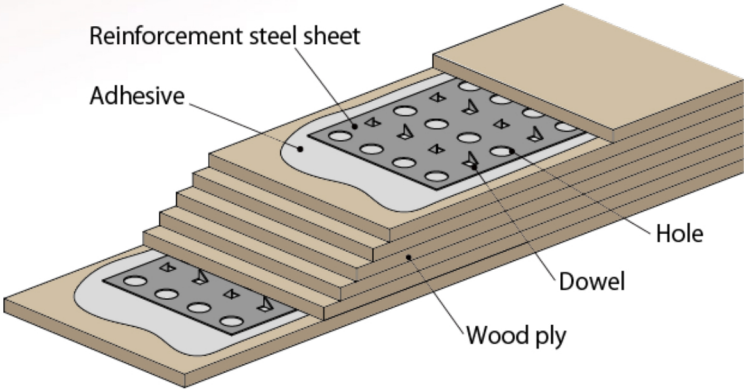
木質構造および建築構法に関する研究分野を担当しています。具体的テーマは、木質材料を利用した軽量で高強度な建築部材の開発と先進的デザインの開発、木造住宅の構法の地域的特徴と変遷の調査、木造住宅の耐震性の向上など、多岐にわたります。

産学連携が可能な研究テーマ:

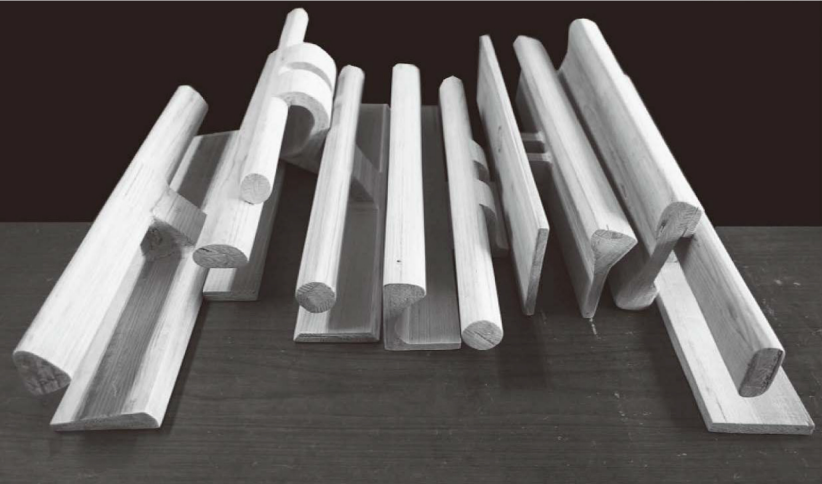
木質建築材料の開発と性能評価、およびその設計への適用方法の構想などのテーマが企業との連携に好適であり、実績も多数あります。木造住宅の耐震補強やその妥当性評価なども行っています。



木質パラソルユニットの開発と振動実験



鋼板補強集成材 (RWB) の開発と性能実験



連続成形による木質ハンドレールを利用したインテリアの設計

准教授 田端 千夏子

耐震診断法の開発・耐震補強

: 診断法 (建防協) の分析と改良・伊賀市浄久寺耐震診断および補強

地震被害調査・木造住宅構法調査

: 熊本地震調査報告 (saigai.aij.or.jp)、建築技術 No. 731、751 など

建設材料および構法の開発

: 薄鋼板を利用した建材およびデザインの開発 (日本鉄鋼連盟)、異形断面集成材の構造的な基本性能の把握・連続成形木質ハンドレールの開発とそれを活用したインテリアの提案 (ユニオン造形文化財団)

建築物の企画・デザイン

: 三重大学キャンパスマスタープラン2018